

1 経済日誌

2020年4月～2020年7月

全 国		和歌山・大阪	
4月16日	緊急事態宣言 全国に拡大 安倍首相は、新型コロナウイルスの感染拡大を受けて、4月7日に東京都など7都府県に発令した「緊急事態宣言」の対象を全国に拡大すると表明した。	4月7日	日本製鉄 2 高炉休止 日本製鉄は、鋼材需要の急減を受け、関西製鉄所和歌山地区（和歌山市）と東日本製鉄所鹿島地区（茨城県鹿嶋市）の高炉計2基を一時休止すると発表した。
5月18日	GDP 実質 3.4%減 内閣府が発表した2020年1～3月期の国内総生産（GDP）速報値は、物価変動の影響を除いた実質の季節調整値で前期比0.9%減、年率換算で3.4%減だった。	5月1日	和歌山県人口 24 年連続減 和歌山県は、4月1日現在の推計人口が91万7252人となり、24年連続で減少したと発表した。減少率は1.14%で1967年の調査開始以来最大となった。
5月25日	緊急事態宣言 全面解除 政府は、継続中であった東京など5都道府県への緊急事態宣言を解除した。4月7日に7都府県で最初に出された宣言は約7週間ぶりに全面解除となった。	5月7日	大阪オフィス賃料 40 カ月ぶり下落 オフィス仲介の三鬼商事が発表した大阪中心部のオフィスの平均賃料は、4月に1坪当たり1万1947円と前月より10円下がった。下落は40カ月ぶり。
6月11日	大企業景況感 マイナス 47.6 内閣府と財務省が発表した4～6月期の法人企業景況予測調査によると、大企業全産業の景況判断指数（BSI）はマイナス47.6となり11年3カ月ぶりの低水準となった。	5月14日	大阪府休業要請 段階的解除へ 大阪府は、新型コロナウイルスの感染拡大を受けた休業要請を、大阪独自の解除基準（大阪モデル）に基づき、16日から段階的に解除することを決めた。
6月17日	5月の輸出 28.3%減 財務省が発表した5月の貿易統計によると、輸出額は4兆1847億円と前年同月比28.3%減となり、リーマン・ショック後の2009年9月以来の下げ幅となった。	6月1日	大阪の訪日客 2019年は1230万人 大阪観光局は、2019年に大阪を訪れた訪日外国人が前年比8%増の1230万6千人だったと発表した。8年連続の増加で過去最高となった。
6月30日	求人倍率 46 年ぶりの下げ幅 厚生労働省が発表した5月の有効求人倍率は1.20倍と前月から0.12ポイント低下した。下げ幅は46年4カ月ぶりの大きさ。	5月26日	和歌山県 ミカン収穫量全国 1 位 近畿農政局は、和歌山県の2019年産ミカンの収穫量と出荷量が16年連続で全国1位になったと発表した。
7月1日	景況感 11 年ぶり低水準 日銀が発表した6月の全国企業短期経済観測調査（短観）で、大企業製造業の景況感を示す業況判断指数（DI）はマイナス34と11年ぶりの低水準となった。	6月19日	大阪都構想 制度案を決定 大阪市を廃止して4特別区を新設する「大阪都構想」の制度案が大阪府・市の法定協議会で決定した。11月1日に住民投票を実施する考え。
7月1日	路線価 5 年連続上昇 国税庁は2020年分の路線価（1月1日時点）を公表した。全国の平均変動率は前年比1.6%増で5年連続の上昇となった。	7月1日	和歌山県内の路線価 28 年連続下落 国税庁が公表した路線価で、和歌山県内の平均変動率は前年比1.1%減となり、28年連続で下落した。
7月7日	5月の消費支出 16%減 総務省が発表した5月の家計調査で、2人以上世帯の消費支出は25万2017円となり前年同月比16.2%減と大きく減少した。	7月1日	大阪府下の路線価 7 年連続上昇 国税庁が公表した路線価で、大阪府下の平均変動率は前年比2.5%増となり、7年連続で上昇した。

2 地域開発のうごき

2020年4月～2020年7月

和歌山県内

4月13日 「紀北橋本エコヒルズ」に物流倉庫を新設へ

橋本市の工業団地「紀北橋本エコヒルズ」に、総合物流会社サザン（岩出市）の進出が決まり進出協定調印式が行われた。土地、建物の投資額は5億1000万円、2021年2月の操業を予定。

4月21日 田辺西バイパス 全線開通へ

国土交通省紀南河川国道事務所は、田辺市の国道42号田辺西バイパスが2022年春に全線開通の見通しになったと発表した。

4月24日 セイカ和歌山工場が完成

セイカ（和歌山市）の新工場「和歌山工場」が西浜工業団地に完成し竣工式が行われた。和歌山工場は同社にとって海南工場に続く2カ所目の製造拠点で、6月上旬の稼働を予定している。

6月1日 「海南ノビノス」が開館

海南市の旧市庁舎跡地に建てられた市民交流施設・図書館「海南ノビノス」が開館した。図書館を中心とした4階建ての施設で、ホール、多目的室などを備えた複合施設。

6月5日 「キーノ和歌山」が開業

南海和歌山市駅の再開発の一環として建設された、駅併設の複合施設「キーノ和歌山」が開業した。商業棟、ホテル棟、市民図書館で構成され、ホテル棟のオープンは7月3日を予定。

6月10日 木質バイオマス発電 稼働へ

大和エナジー・インフラは、グリーン・サーマルと共同開発していた「紀南バイオマス発電所」（西牟婁郡上富田町）が完成し、商業運転を開始したと発表した。想定年間電力量は4800万kWh。

7月2日 「わかやままるしえ」オープン

和歌山市中央卸売市場（和歌山市西浜）の再整備事業の第1弾となる総合食品センター棟「わかやままるしえ」がオープンした。飲食店や食料品、雑貨などを扱う市場関連事業者37店舗が入る。

7月6日 「あやの台北部工業団地第1地区」開発始動

橋本市北東部に造成される「あやの台北部工業団地第1地区」の予定地で、造成工事の安全祈願祭が行われた。工期は2023年3月までで、企業用地15区画を造成する。

7月9日 「MIGIWA TERRACE」が竣工

和歌山市の中心市街地再開発事業で進めていた福祉・教育・住居・商業が一体化した複合施設「MIGIWA TERRACE（みぎわテラス）」（和歌山市北汀丁、南汀丁）が竣工した。

3 地域開発のうごき

2020年4月～2020年7月

大阪府内

4月3日 「北大阪トラックターミナル1号棟」竣工

泉北高速鉄道は、茨木市で「北大阪トラックターミナル1号棟」の竣工式を行った。地上4階建て、延床面積は49,980㎡で、トラックターミナルと配送センターの複合的な物流施設。

4月22日 枚方市で物流施設を開発

シーアールイー（東京都港区）は、枚方市でマルチテナント型を想定した物流施設の開発プロジェクト推進のため、開発用地（21,144㎡）を取得する契約を締結したと発表した。

5月26日 新大阪エリア最大級ホテルが開業

アパホテルは、大阪市内で16ホテル目となる「アパホテル〈新大阪駅前〉」を開業した。地上15階建て、客室数は660室で新大阪エリア最大級。

5月29日 大阪メトロ 非鉄道事業強化へ

大阪メトロは民営化後3年目に入り非鉄道事業強化のため、2025年度までにマンションや大型商業施設を53カ所で開発し、現在の10倍に増やすと発表した。

6月11日 茨木市に医薬品物流施設を新設

三菱倉庫は、茨木市に医薬品物流施設を建設すると発表した。延床面積約26,500㎡、設計施工費は約64億円、2022年11月の竣工を予定。

7月1日 難波に「マリオット」ホテル開業

大手ホテルチェーンの米マリオット・インターナショナルは、大阪・ミナミのJR難波駅近くに新しい宿泊特化型ホテル「フェアフィールド・バイ・マリオット大阪難波」をオープンした。

7月5日 「こどもの本の森 中之島」がオープン

子ども向け図書施設「こどもの本の森 中之島」が大阪市北区中之島にオープンした。吹き抜けのある3階建てで、壁が全て本棚となっており、絵本や児童書1万8000冊が並ぶ。

7月8日 都心地域の活性化支援で公募型プロボ

堺市は、「2020年度都心地域の活性化支援業務」の公募型プロポーザルを公告した。都心地域のエリア価値の向上、官民連携による都心地域の公共空間の利活用推進等を検討する。

7月9日 「ロジスタ・ロジクロス茨木彩都」が着工

阪急阪神不動産と三菱地所は、茨木市で共同開発する大規模物流施設「ロジスタ・ロジクロス茨木彩都」2棟を既に着工し、入居する2社が内定したと発表した。竣工は2021年春を予定。

4 関西国際空港

2020年4月～2020年7月

関西国際空港

4月27日 関空ージャカルタ線を再開

インドネシアの国営ガルーダ・インドネシア航空は、5月2日から関空ージャカルタ線の運航を週2便で再開すると発表した。

4月28日 バンブー航空が外国人国際航空運送事業の経営許可を取得

国土交通省は、ベトナムのバンブー航空に外国人国際航空運送事業の経営を許可した。同航空は、5月20日から関空ーホーチミン、関空ーハノイ線をデイリー運航する。

5月14日 国際空港評価3部門で1位を獲得

関空エアポートは、スカイトラックスの国際空港評価において、空港スタッフに特化したサービスの質や手荷物の取扱い、管理などの3部門で1位を獲得したと発表した。

5月31日 関空ーマニラ線を再開

フィリピン航空は、新型コロナウイルスの影響に伴い運休していた関空ーマニラ線の運航を6月22日から週3便で再開すると発表した。

6月9日 関空ーソウル線を再開

アジアナ航空は、7月から関空ーソウル線の運航を再開すると発表した。7月1日から20日までは週3便、21日以降はデイリー運航する。

6月10日 関西エア初の減収

関西エアポートが発表した2020年3月期決算は、営業収益が前年比2%減少し2158億円、営業利益は8%減少し524億円だった。関空の民営化以降、初の減収減益となった。

6月19日 ピーチ国内線全路線が再開

ピーチ・アビエーションは、22路線ある国内線の全てで運航を再開した。新型コロナウイルスの影響で運休していた、関空と釧路、新潟、福岡などを結ぶ計12路線の運航を再開した。

6月25日 関空旅客最低3万6113人

関西エアポートは、5月の関空の利用状況を発表した。国際線と国内線を合わせた総旅客数は、前年同月比99%減の3万6113人となり、単月として過去最低を更新した。

7月3日 関空対岸に「泉南りんくう公園」がオープン

関空対岸に「泉南りんくう公園」がオープンした。関西最大級のレクリエーション施設で、グランピングエリア、コミュニティエリア、マルシェエリア、アクティビティエリアが設けられている。